



2010・1・12

第132号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

東北、関東ブロックも交流集会を準備

中国ブロック（09年12月12日）、関西ブロック（同12月13日）の交流集会では、進んだ取り組みに学ぶとともに、悩みや苦勞も率直に出され、今後の運動にヒントを得たとの感想がよせられています。

その経験に学びつつ、自分たちのブロックでも交流集会を開こうとする取り組みが東北、関東ですすすめられています。

「首長の会」からも参加して

【東北ブロック】 「東北ブロック九条の会交流会」は2月20日、仙台市で開催されます。主催は各県九条の会と九条の会で作る「実行委員会」です。1月23日には第2回実行委員会を開き、全体会、分散会で発言する九条の会の選定や、全体の参加状況の検討などをおこなうことにしています。

東北ブロックの他のブロックにない特徴は、「秋田市長村長九条の会」、宮城の「憲法九条を守る首長の会」という前元首長らでつくる九条の会があることで、当日はそれらの会からも参加する予定です。

少人数で徹底した交流めざす

【関東ブロック】 「九条の会関東ブロ

ック交流集会」は4月4日、東京都内の高校の教室をかりて開かれます。主催は「九条の会」と、関東各都県の九条の会、分野別の九条の会等で作る「運営委員会」。高校の教室を借りたのは、できるだけ多くの部屋にわかれ、報告への質疑を含めて濃密に交流したいとの要求によるものです。

交流集会は、午前の全体会で「九条の会」事務局から全国の九条の会運動の現状について報告を受けるとともに、各都県から1名ずつ発言。午後は時間を3時間とって、分散会、分科会で交流を深めます。

岐阜では県内の活動交流会

【岐阜】 12月13日、「九条の会岐阜県活動交流会」が美濃加茂市で開催され、220人参加しました。

集会では「岐阜・九条の会」の吉田千秋事務局長のあいさつにつづき、小林武愛知大学教授が「新たな情勢の中での憲法9条」と題して講演、「人間らしく生きる前提としての9条を守っていこう」と訴えました。

分科会は6つに分かれ、国民投票法、自衛隊の海外派兵や九条の会の活動について交流しました。

学生九条の会が3回目の交流会

学生九条の会の第3回交流集会「Peace Night 9 (ピースナイトナイン)」が12月11日、早稲田大学で開かれ、首都圏から貸切バスでかけつけた学生を含め、約500人が参加しました。

「私たちと9条」と題するコーナーではそれぞれの9条に関する意見をやり取りを紹介。高校生九条の会の運動に参加している高校生は、来年のNPT（核不拡散条約）再検討会議にむけ、1万人を目標に核兵器廃絶の署名活動に取り組んでいることを報告。早稲田大学の学生はこの集会に向けて120人へのアンケート調査をした結果、9条を変えるべきではないと答えた学生が6割だったと述べました。沖縄県出身の学生は米軍基地の危険な実態を訴えました。

女優の渡辺えりさんが2人の学生とトークセッション、「平和や憲法は生きるためのもの」と、生活のなかで9条の問題を考えていくことの重要性を強調しました。

地域の戦争体験掘り起こして

【長野県・伊那市】 長野県伊那市の「手良九条の会」は12月8日、憲法と平和に関する講演会を開き、会員以外にもビラ、有線放送などで案内し、17人が参加しました。

旧陸軍伊那飛行場について研究している久保田誼氏が、「陸軍伊那飛行場と憲法9条」と題して講演をおこない、陸軍伊那飛行場がつくられた経緯やその歴史、特攻隊の訓練もされていたこと、終戦時の決起計画や略奪などの秘話も紹介しました。

【岩手県・一関市】 「一関九条の会」は12月8日、「戦争を語る冬のつどい」を

開き、約40人の市民が参加しました。

集会では釜石平和委員会の中川淳氏が当時のもようを語りました。中川氏はその中で、45年7月、米英艦隊が釜石製鉄所の壊滅と日本人の戦意低下をねらい2度にわたるじゅうたん攻撃を加え、死者は製鉄所より市街地のほうが多かつこと、街は焼け野原になったこと等を紹介しました。

参加者からは、驚きの声とともに、東京大空襲記録の掘り起こし運動などについての質問も出ました。

【宮城県・松島町】 「松島九条の会」は12月8日、「戦争体験を語り継ぐ集い」を開き37人が参加しました。

つどいでは、町内在住の結城礼子さんが、戦時中、日本赤十字社の救護看護婦として召集を受け、広島県江田島の海軍兵学校に勤務し、原爆投下の瞬間を目撃した体験を語りました。

「看護婦にも赤紙」に驚きの声や、「戦死するかもしれない救護看護婦になぜなろうとしたのか」という質問が出され、「そういう時代だったんです」という結城さんの答えをめぐって参加者の討論もありました。

4つの九条の会が協力して

【愛知県・名古屋市】 名古屋市内の昭和区九条の会、千種区九条の会、みずほ九条の会、名東九条の会が協力し、12月8日、「第4回平和のともしびウォーク」を行い400人が参加しました。

参加者はペットボトルを利用したともしびを手に、ミニ竿灯やミニねぶた、みこしも繰り出して行進。平和の歌声を響かせながら、「憲法9条を活用して平和な日本を」と市民に訴えました。